

広報 すぎなみ

Suginami

30年度予算案を
お知らせします。

「ホップ・ステップ・ジャンプ」で構成される三段跳び。特にステップからジャンプへと勢いをつなぎ連動させることがこの競技の鍵といわれているようです。今、まさに区も24年度から進めてきた総合計画のステップからジャンプへと大きく飛躍するための大切な時を迎えています。これまでの勢いを保ち、さらに加速、そして次のステージへ。
30年度予算案「未来への道を拓く^{ひら}ステップアップ予算」の内容をご覧ください。



支えあい共につくる
安全で活力あるみどりの住宅都市 杉並

3/1
平成30年(2018年)
No.2223

未来への
ステップ
アップ。



特集

未来への道を拓く ステップアップ予算

Contents —主な記事—

6 | 区民意見を募集します 7 | 30年度病児保育の登録受け付け開始 9 | 連載「区立施設の再編を考える」(最終回) 16 | 3月5日「エクレシア南伊豆」が開設します

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 | ☎ 3312-2111(代表) FAX 3312-9911(広報課直通) | 🌐 区ホームページ: <http://www.city.suginami.tokyo.jp/> | 📄 発行: 杉並区 | 📝 編集: 広報課

広報すぎなみは月2回(1・15日)発行。新聞折り込みのほか、区の施設・駅・コンビニエンスストアなどの広報スタンドに設置しています。

未来への道を拓く ステップアップ予算



30年度は、基本構想に基づく総合計画の計画期間10年を「ホップ・ステップ・ジャンプ」の3つの期間に分けた第2段階「ステップ」の最終年であると同時に、「ジャンプ」の期間に向けて計画改定を行う年となります。総合計画の第3段階「ジャンプ」に向けて大きく飛躍していくため、基本構想の5つの目標ごとに、実行計画・協働推進計画・行財政改革推進計画の取り組みに要する経費を確実に予算に反映しました。

予算案は現在開催中の区議会第1回定例会で審議されます。

目標1

関連の取り組み

地震被害シミュレーションの結果を活用した新たな耐震・不燃化の取組を推進

50,628千円

耐震診断・耐震改修の助成制度を、新耐震基準(昭和56年6月から平成12年5月)で建てられた木造建築物まで拡充します。
建築物不燃化建替助成と感震ブレーカー設置支援の対象エリアを拡大します。

- 大災害に備えた避難情報の充実 9,353千円
- 大規模テロ等に備える杉並区避難実施要領を策定 4,968千円
- 防犯対策の更なる強化 33,987千円 など



目標2

関連の取り組み

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた気運醸成

1,178,551千円

「ホームステイ・ホームビジット支援事業」を始動し、オリンピック・パラリンピックのレガシーを創出します。
リニューアルする永福体育館および上井草スポーツセンターを活用して、国内外チームのオリンピック・パラリンピック事前キャンプの誘致に取り組みます。

- 「図柄入り杉並ナンバープレート」の導入・普及 1,075千円
- 新たな地域交通手段の調査・研究 3,000千円
- 高精度地形情報を活用したまちづくりの推進 15,960千円
- 商店街等と地域団体等が連携して実施する地域の活性化事業への支援 19,920千円 など



目標3

関連の取り組み



(仮称)荻外荘公園の整備推進

116,843千円

(仮称)荻外荘公園の整備基本計画の策定と移築建物の解体保管工事等を進めるとともに、関連イベント等を通じて荻外荘の復元・整備に向けた機運醸成を図ります。

- 身近な公園の開園 505,670千円
- 区民の憩いの場の創出 901千円
- 杉並もったいない運動の拡充 1,549千円 など



区長からのメッセージ「未来を切り拓く」

今年は、明治維新から150年の年にあたります。明治時代、日本は近代国家としての一歩を踏み出し、この時期に現在の国の基本的な形が築かれました。さまざまな困難を乗り越えて近代化を成し遂げた先人の努力の先に、今日の日本があることを忘れてはならないと思います。
今私たちも、急激な少子高齢化の進展、というこれまで経験したことのない大きな困難に直面していますが、明治の先人にならい、この壁を何としても乗り越え、次世代に豊かな地域社会をつないでいくことが、現役世代である私たちに課せられた大きな責務です。
そのためには、常に時代の先を読み、未来に向けて新

たな道を開拓するという気概を持って区政運営に全力を尽くすことが不可欠だと、私は強く感じています。
このような考え方にに基づき、新年度予算案は、財政の健全性を確保しつつ、首都直下地震に備えた減災・防災対策に加え、保育園の待機児童対策や高齢化に対応した施設整備、在宅介護の充実など、少子高齢化対策にとりわけ重点を置き編成致しました。
ぜひ、区民の皆さんにも、わがまち杉並の「家計簿」ともいえるこの予算案をご覧ください、区の取り組みへのご理解とご協力をお願い申し上げます。



目標4

関連の取り組み

住民主体の支えあう地域づくりと包括的な相談支援体制の推進

3,136千円

「ウェルファーム杉並」(天沼三丁目複合施設)複合施設棟を拠点として、地域住民による支えあいの取り組みを支援するとともに、分野や制度を超えて包括的に対応できる相談支援体制を整備します。



- 高齢者の住まいと介護施設の整備推進 395,742千円
- フレイル※予防による健康状態の維持・向上 3,539千円
※年齢に伴って筋肉や心身の活力が低下した状態のこと。
- 重度身体障害者通所施設(上井草保育園跡地活用)及び重度知的障害者支援施設(下井戸一丁目区有地)の整備着手 59,189千円 など



目標5

関連の取り組み

待機児童ゼロの実現とその継続

1,265,437千円



今後も増加が見込まれる保育需要に対応するため、保育定員のさらなる確保と保育の質の維持・向上に取り組みます。

- 地域の子育て環境の整備 265,142千円
- 新学習指導要領を踏まえた外国語教育の充実 63,935千円
- 特別支援教育の充実 56,431千円
- 「地域型子ども家庭支援センター」の整備による児童虐待対策の充実・強化 44,300千円
- 地域住民活動の支援・充実 150,625千円 など

「基本構想」5つの目標

- 目標1 災害に強く安全・安心に暮らせるまち
- 目標2 暮らしやすく快適で魅力あるまち
- 目標3 みどり豊かな環境にやさしいまち
- 目標4 健康長寿と支えあいのまち
- 目標5 人を育み共につながる心豊かなまち

